

会議録

日 時	令和元年10月17日(木) 午後6時30分から午後8時50分
会 場	芸術文化ホール 活動室3
出席委員	本橋委員長、櫻井委員、山口委員、古木委員、中田委員、高松委員、藤崎委員、外崎委員
欠席委員	橋本委員、安藝委員
市出席者	吉田課長、山田主査、古内主事、南主事

■開会(午後6時30分)

■社会教育委員長あいさつ

■報告事項

(1) 第59回北海道社会教育委員研究大会について

委 員：口頭及び資料に基づき報告。

委 員 長：質問等ありますか。では、次にいきます。

(2) 社会教育課所管事項の進捗状況について

事 務 局：資料に基づき説明。

委 員 長：以上の報告について、質問等ありますか。私からよろしいでしょうか。先日開催された「公民館まつり」は参加団体数及び来場者数は昨年と比べてどうだったのでしょうか。

事 務 局：参加団体数は、昨年が19団体で今年が14団体なので5団体減っています。来場者数は、昨年も850名で同様の結果となっています。

委 員 長：ありがとうございます。他にありますか。では次に進みます。

(3) 地域学校協働活動について

事 務 局：資料に基づき説明。

委 員 長：質問等ありますか。

委 員：私は、健全連絡育成協議会、生涯学習振興会、コミュニティースクールに関わっています。それぞれ教育委員会の担当課が別々なのですが、こっちはそんなつもりでやってない。全部同じで地域のことと思ってやっています。その点は行政とのギャップを感じます。

事 務 局：国の考えで言えば、そういった地域の諸団体の活動を地域学校協働活動としてひとつで考えていて、市でもそのようにできればいいのですが、それぞれの業務量が大きいということもありまして、単純にひとつにするということが現状難しいです。そこをきちんと3課で連携を取っていくことが内部的な課題です。

委 員：こっちに言ったことと同じことをそっちにも言わなければいけないんですよ。

事 務 局：教育委員会はひとつなので、しっかり情報共有しながら進めていきます。

委 員 長：市役所の体質的な部分でもあるので、深い課題だと思います。また折に触れて議論できればと思います。続きまして協議事項に参ります。

■協議事項

(1) 次期教育振興基本計画について

事 務 局：資料に基づき説明。

委 員 長：協議のポイントは、当会議を代表して橋本委員が出席している。そこで橋本委員が発言できるような素材を出せばいいのかなと思います。文言というよりは内容の部分ですね。この10年を振り返って見たときに、生涯学習に力を入れて進んできま

会議録

したが、これからは、社会教育の充実。「ひとづくり」に力点を置いて進めていくべきだと捉えてよろしいでしょうか。この点について、ご意見あればお願いしたいと思います。

私ばかりですみません。社会教育委員として活動して数年経ちますけども、先程報告あった公民館まつりや様々な社会教育関係団体の皆さんが、趣味や学びを通して発表する。それは市民の文化祭的な要素が強く、とても良いと思います。ただ、一方では、高齢化が進み活動そのもの自体がスムーズに出来なくなってきているという現状があります。そうすると若い世代に引き継いでいく必要があるのですが、簡単にはいきませんので、中高生のうちから地域の担い手を育てる社会教育事業としての仕掛けが今後大事になってくるのではないかと随分感じております。

委員：若い世代が育っていかないというのは私も感じるところでございます。先程説明のあった、地域学校協働活動のような縦ではなく横のつながりのような時代にあった「なにか」なのかなと思います。昔なら簡単にできていたことも意図的に色々考えて仕掛けをつくっていく必要がある時代なのかなと思っています。立派な理論をどこまで市民に浸透させていくかが大切なのかと。これとって新しいアイデアがなく申し訳ないのですが。

委員：私ごとですが、江別市にあるプログラミング教室に通ってまして、そこは年齢の幅が広く、大学生がいれば60歳くらいの大学教授さんも学びに来ています。学生が教授さんに教えたりしながら、お互いに切磋琢磨しながら、皆さん学ばれています。北広島市ではあまりその光景を見ないなと感じます。小学生から我々大人が教えられることもあると思います。お互いに学び合う場が必要かと思えます。

委員：私は、生涯学習振興会で活動をしていて、地域にある色々な団体の方々や活動がわかるのですが、普通に過ごしていると地域の団体がこんな活動をしているとかがっていうのは、なかなかわかりづらいと思います。

なので、地域の団体を講師に様々な事業を開催して、活動の魅力の発信をしています。しかし、イベントとなってしまっているのも、ひとづくりという視点をもっていかないためですね。

委員：放課後子供教室で去年からお世話になっております。東部小学校は8人の学習講師いまして、他にちょいスポさん英語関係の方に手伝っていただいています。今がちょうどいい数でして、放課後子供教室はこれから増えていこうと感じていますが、いまのままでは人が足りません。どうやって増やせばいいのかというのはとても難しく、よくいまの方々を見つけて実施しているなと感心しています。やはり人づてに知っている人をお願いしてという形で広がってほしいと思いますが、そのためには活動に充実感や達成感を持たせることが必要だと思います。

委員：これからは、全く違うライフスタイルの人たちをどう結んでいくかが社会教育の課題なのかなと思っています。やはり外から見るとどこが何をしているかわからないので、色々な人を巻き込んでいく必要があるのですが、どれだけ人と人をつなげていくかですね。

会議録

委員長：ありがとうございました。この議題は今日この場でどうするとはならないです。いまお話いただいた内容ですと、各団体・サークルの活動の情報発信をしっかりとすべきだとか、人と人を結びつける機会を色々な形で考えていく必要があるということ。子どもから学ぶ機会というのにも必要だとか。これらを実現に向けてすり合わせていく機会があれば良いと思います。

事務局：今回皆さまに話し合っていたいただいた内容を整理して、橋本委員にお伝えしたいと思います。

委員長：よろしくお願いします。では、次の公民館事業についてお願いします。

(1) 公民館事業について

事務局：資料に基づき説明。

委員長：私が案を作らせていただきました。今回新たに委員になられた方はご存知ないかと思いますが、平成29年に当会議でまとめた「北広島市における公民館施設のあり方」という答申で、「公民館事業については、ひとつづくりに大きく関係していることから今後、当会議で議論し、課題整理や提言を行っていく」とまとめています。

あとは、社会教育法第22条にある公民館事業は、各地区の生涯学習振興会に交付金を交付し、お願いしてしまっている状況です。公民館まつりについても実行委員会に対し補助金を出すので、どうぞやってください。という感じでしょうか。

事務局：公民館まつりについては、利用者による施設祭の意味合いが強いですが、それにしても社会教育課として、中央公民館の利用者数が増えたり、サークル化につながるような施策はされていない現状があります。結果として、参加団体が年々減少しています。

委員長：当会議で答申をまとめた手前、そろそろ何かやらないとまずいですよね。「組織的、継続的、ひとつづくり」この3つの要素を含んだ事業を実施する必要があります。

委員：公民館事業と生涯学習振興会と同じことをしては意味ないですので、将来を見据えて目的を持って実施していくことが必要ですね。

委員長：これは私見に過ぎませんが、ボールパークの開業でこのまちが大きく変わると思っています。これからのまちづくり、ひとつづくりを世界遺産の登録によって大きく変わった地域と比較しながら考えてみるというのは意義のあることだと思います。

社会教育目標に合致したものを実施する必要があります、まちづくりについては、「豊かで住みよい郷土、北広島をつくる」、「希望に満ちた明るい青少年を育てる」という考え方を提供するものです。

この件については、できれば来年4月から私たち社会教育委員の会で実施していければと思っております。なので、このようなプログラムがあった方が良いとか、これなら自分が講師をできるというものがあれば、意見をいただければと思います。

委員：例えば、Eスポーツのような若い人が来たくなくなるようなものがあればいいですね。

事務局：先日開催した公民館まつりで今回初めて、ダーツの団体をゲスト参加として招いて健康ダーツを実施しました。高齢者の健康づくりにダーツという手法で取り組んでいき

会議録

たいという団体で、子どもから高齢者まで楽しみながらダーツに興じていました。今後、色々な形で連携していきたいということもいただいていますので、公民館事業としてなにかできるのではと思っています。

あとは、北海学園大学と連携しての地元学が今年で2年目になりました。今後、大学側と調整してシリーズ化していくのも良いかと思っています。

委員 長：地元学は、私と藤崎委員、外崎委員が参加しています。地元学というのはすごく大事で、先程のまちづくり、地域づくりという視点をプラスすると、より郷土愛が育まれると思います。良いと思います。

委員：私の感想としては、まず西部地区から中央公民館まで行くというのが遠いのであまりないです。

事務局：中央公民館で行われた効果ある事業が各地区の生涯学習振興会と連携して実施できるようになれば良いですね。現在、団地地区に生涯学習振興会はありませんので、団地地区をカバーする意味でも中央公民館をうまく使えば市内全域で公民館事業が展開されていくのではと考えます。

委員 長：私は団地地区に住んでいますが、みなみ高齢者支援センターの職員の方が健康づくりに関する講座をやっているようで、結構人も来ています。高齢者にとって健康というのはとても関心のあることなのです。公民館事業として実施するのもいいかもしれませんね。

委員：中央公民館の調理室を使って男性向けの料理教室があってもいいと思います。

事務局：現在、健康推進課で「男性のための生活講座」というまさに男性の料理教室のような事業が行われています。やはり市役所の中でどこがどんなことをしているというデータをしっかり把握していかなければいけないと感じています。

委員 長：この後、公民館事業について話せる機会はあと1回、3月頃まで無いので、今出た皆さんからの意見を精査すると、10月末までに思いついたアイデアを事務局に提案するというのはどうでしょうか。それを受けて私と事務局で素案を作成し、皆さんに配信し、協議が必要な場合は話し合いの場を年内のどこかで設ける。

来年度予算はいつごろまでに決めるのでしょうか。

事務局：11月中旬くらいには決めてしまわないといけません。いまの話の流れでは公民館事業を実施してみよう。ということだと理解しています。実施するための予算の確保については、既存事業の組み換え等を視野に入れながら我々の方で考えてみたいと思います。

委員 長：予算のスケジュールもあるということなので、今月末までに思いついた公民館事業があれば、事務局までお願いいたします。そして、11月中に取りまとめで必要であれば協議の場を設けるということをお願いいたします。

■その他

(1) 石狩管内市町村社会教育委員等研修会について

事務局：資料に基づき説明。

委員 長：今年度から委員になられた方は、我々社会教育委員のための研修会ということです

会議録

ので、参加されることを強くお勧めいたします。なにかありますでしょうか。ではこれで会議を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○閉会（午後 8 時 50 分）

会議録署名委員
